



こころ
P

感謝の気持ちをこめて



「ありがとう。」

言われると嬉しい言葉。言えると自分も嬉しくなる言葉。

今月11日から校舎の窓には、「1年のしめくくり 自分のがんばりを認め支えてくれた人たちに感謝しよう」というメッセージを掲げました。

感謝に関する研究をした心理学者がいます。感謝できることを毎日5つ書き続けたグループは、何もなかったグループに比べて幸福感が高くなったそうです。そして、人に対して優しくなり、よく眠れるようになったそうです。つまり、感謝することで、幸福度が高まる→体調がよくなる→人間関係がよくなる（孤立感の減少）→生産性がアップするなど、様々な効果が期待できるということです。

もちろん人との間に生まれる感謝だけでなく、朝の光、楽しかった会話、いのちあることなどに対する感謝もあることでしょう。

感謝の気持ちは、具体的に。(いつ、何を、どう伝えるのか。)

今年のこと、今年のうちに。

普段から「ありがとう」の気持ちを伝えている人も、普段なかなか伝えられていない人も、1年の終わりという機会に感謝の気持ちを伝えられるといいですね。みなさんの心が「ありがとう」で満たされますように。

2023年も、たくさんのご支援をいただきありがとうございました。



「誰か」のことじゃない。

こころ
P

「誰か」のことじゃない。

これは、法務省人権週間のスローガンです。

12月11日(月)の人権集会において、人権についての説明、クラスで考えた人権宣言の発表、人権に関する読み聞かせなどを行いました。

以下は、児童代表人権メッセージの一部です。

私は、言葉はとても大切だと思います。そして、言葉には大きな力があると思います。私は言葉に責任をもって相手の気持ちを考えて言葉を発し、人に勇気や元気を与えられる人になりたいです。

小さな行動で何か救えることがあるなら、私はやっていきたいです。

クラスの子が周りのお友達からからかわれているのを見たら、勇気を出してそのお友達を守ってあげられるような人になれたらいいなと思いました。

人のよいところを見る。これはぼくが一番大事だと思っていることです。

ぼくには大切にしていることがあります。それは、やさしい気持ちです。



私は1人では生きていけない。パパやママはもちろん、おじいちゃんやおばあちゃん、友達、近所の人たちに支えられて私が私でいられる。毎日が楽しく笑顔でいられる。

生活の中で、学習の中で、自分も周りの人も大切にすることを育てていきたいと思っています。

からだ
P

持久走大会がんばりました



学級閉鎖や天候不良等によって12月8日(金)・18日(月)・19日(火)の3日間にかけて実施した持久走大会。本日無事に全学年実施することができました。1秒でも速く、去年より1つでも上の順位に、目標の記録を達成できるように。走り終わった後の表情はとても清々しいものでした。たくさんのお応援をありがとうございました。